

令和八年の輝かしい新春を迎えて、消防職・団員並びに消防関係者の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様には、火災や事故・災害などから、地域住民の生命・身体・財産を守るために、日夜、献身的な活動を続けていただいておりまことに、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

さて、昨年は、二月に大船渡市の大規模林野火災、七月にカムチャツカ半島付近の地震に伴う津波警報発令、八月から九月にかけての記録的な猛暑と豪雨災害、十一月には大分市佐賀関の大規模火災、そして十二月には青森県東方沖地震で初めて「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されるなど、近年は、全国各地で想定を超える災害が頻発しており、今後、首都直下地震や南海トラフ地震等の発生も危惧されております。

大会のあり方を見直したほか、市町村が操法大会の隔年開催や式典の簡素化などを積極的に行なっており、今後、消防団員制度の導入など団員確保対策の取組みを支援しているところです。

なかでも、今年度から、県と共に消防団員制度の導入など団員確保対策の取組みを支援しているところです。

消防団員制度の導入など団員確保対策の取組みを支援しているところです。

消防団員制度の導入など団員確保対策の取組みを支援しているところです。

令和八年の輝かしい新春を迎えて、消防職・団員並びに消防関係者の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

地域において日頃から備えを万全にしておくことが重要であり、そのためには、消防団が中核的な役割を果たしながら、常備消防との連携のもと、住民総参加の地域防災体制を確立していくことが益々重要になってくると考えております。

こうした中、年々減少を続けている消防団員の確保対策は喫緊の課題であり、幅広い住民（被用者・女性・学生等）の入団促進、事業所との連携強化、機能別

このように、激甚化・頻発化する災害から被害を最小限にとどめるためには、地域において日頃から備えを万全にしておくことが重要であり、そのためには、消防団が中核的な役割を果たしながら、常備消防との連携のもと、住民総参加の地域防災体制を確立していくことが益々重要になってくると考えております。

消防団員の確保対策は喫緊の課題であり、幅広い住民（被用者・女性・学生等）の入団促進、事業所との連携強化、機能別



年頭に寄せて

公益財団法人茨城県消防協会

会長 葉梨 卫



新年号

発行所
水戸市千波町1918番地
茨城県総合福祉社会館内
公益財団法人茨城県消防協会
編集発行人
消防協会長葉梨衛
印刷所
（有）堀口印刷
1部 15円
(購読料は負担金に含まれています)

行う消防団と地域住民との交流活動や機能別消防団設置などを支援するための協会助成事業の充実強化を図ったところであります。

今後とも、消防の持つ使命の重要性を深く認識し、消防防災技術の向上や、消防団等の組織の強化、消防職・団員の士気の高揚、消防防災思想の普及啓高揚、消防防災思想の普及啓発など各種事業を

積極的に推進し、本県消防の更なる発展に努めてまいる所存ですので、なお一層のご支援ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

結びに、本年の無事平穏とともに、皆様方とご家族様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。



新年のごあいさつ

茨城県知事 大井川 和彦

新年あけましておめでとうございます。皆様には新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、最低賃金や平均賃金の大幅な引き上げが実現するなど、雇用環境の改善に明るい兆しが見えた一方、長引く物価高や人手不足が私たちの暮らしに大きな影響を与えた一年でした。

時代は今、加速度的に進む人口減少をはじめ、国際秩序の変容や気候変動による影響の拡大、人工知能の驚異的な進化などにより、大きな変化の只中になります。

私は、就任以来、この激動の時代を見据え、「挑戦」「スピード感」「選択と集中」の三つの基本姿勢を徹底し、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現

さらに、県立中央病院と県立こども病院の統合を含む水戸保健医療圏の病院再編に向けた具体的な検討に着手したほか、障害者支援施設「あすなろの郷」の再編整備が完了するなど、様々な面で成果を上げることができました。

こうした成果を背景に、二〇二二年度の一人当たりの県民所得は前年に引き続き全国三位となつたほか、人口の「社会増加数」は近年全国上位で推移し、東京都や大阪府などの大都市圏に次ぐ「社会増」が定着しつつあるなど、本県の潜在能力の開花に繋がる変化が着実に芽生えています。

本県の潜在能力を更に大きく開花させ、環境が激変する時代にあっても本県を更に飛躍させていくには、現状維持にしがみつくことなく、「過去の延長線上に未来はない」との考え方のもと、これまでの改革路線を更に協力に進めていくことが必要です。

このため、現在、策定を進めている新たな総合計画におきましては、「新しい豊かさ」「新しい安心安全」「新しい人財育成」「新しい夢・希望」のチャレンジをさらに進化させるとともに、特に、他地域にはない特長を創りだすための差別化、将来の発展を見据えたインフラへの投資、多様な人材が活躍できる社会の実現に力を入れ、「茨城に住みたい、住み続けたい」人が大いに増える、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現を目指してまいります。

本年も、県民の皆様とともに、「新しい茨城」づくりに全力で取り組んでまいりますので、なお一層のご協力、ご支援をお願いいたします。

皆様にとりまして、本年が実り多き素晴らしい一年となりますことを、心よりお祈り申し上げます。

十二月二十三日（火）、県庁講堂において、県との共催による「令和七年度茨城県女性消防団員活性化大会」を開催しました。

茨城県女性消防団員活性化大会を開催



活性化大会の様子

また、講演の間には、平成二十七年の「常総水害」から十年が経った節目として、当時ご支援いただいた県内の女性消防団員など関係者の皆様にお礼を伝えたということです。常総市消防団の長塚団長が、常総市長のメッセージを披露し、感謝の意を伝えられました。



常総市消防団の皆様

各市町村消防団長や女性消防団員など、三百名を超える参加者により、会場は満席となりました。

第一部の「活性化大会」では、はじめに葉梨会長と横山県防災・危機管理部長等充実強化アドバイザーで、「元横浜市消防局消防団課 元横浜市保土ヶ谷消防団本部アドバイザーの丸山正美」様を講師に迎え、「カッコいい消防団員」消防団活動の充実と充足率の向上」というテーマで、横浜市女性消防団の活動内容などについて、自身の経験談を交えながら、お話しいただきました。

女性団員にとっては、今後の活動に向けて、大変参考になる講演となりました。



情報交流会の様子

なお、第一部の「情報交流会」は、会場を移して開催し、和やかな雰囲気の中、多くの女性団員が地域の枠を超えて親睦を深められました。



丸山正美講師

日本消防協会
主催
消防団幹部特別研修・
消防団幹部候補
中央特別研修

日本消防協会が主催し、全国の消防団幹部の方々が集う「第五十二回消防団幹部特別研修」に茨城県代表として参加いたしました。

初日には、秋本敏文会長より直接の講話を拝聴し、この研修の重要性について、気持ちを新たにすることができました。

研修では、全国の消防団活動の事例を沢山伺いました。年々減少傾向である団員確保の対策や育成なども参考になりましたが、特に印象深く考えさせられたのは、能登半島地震などの大規模災害発生時に、消防団本部と現場が機能不全に陥った時の話でした。



鈴木克巳 副団長

日本消防協会主催による「第五十二回消防団幹部特別研修」が、一月十三日（火）～十六日（金）の三泊四日で、日本消防会館において開催され、本県から、小美玉市消防団の鈴木副団長が参加されました。

（二）に、鈴木副団長からの寄稿文「消防団幹部特別研修を終えて」をご紹介します。

今後、これらの課題を解決し、安心・安全な強い地域を作っていくためには、自治体の防災体制の強化や防災教育の拡充とともに、デジタル技術を活用した災害対策本部運営シミュレーション演習な

充とともに、デジタル技術を活用した災害対策本部運営システム演習などを行うことも必要であると感じました。

と濃密な意見交換を行うことができ、非常に有意義な時間となりました。

最後になりますが、研修期間中にお世話になりました日本消防協会や茨城県消防協会、小美玉市消防本部など関係者の皆様に、改めて感謝申し上げます。

誠にありがとうございました。

一方、同じく、「第二十五回消防団幹部候補中央特別研修」に参加される研修生は、かすみがうら市消防団と北茨城市消防団から次の方々です。

応援に駆け付けた消防長や職場の同僚
家族など大勢が見守る中、発表者は、A
Iの活用など時代の変化に対応した業務
改善の取組み等について提案するなど、
練習の成果を遺憾なく発揮され、会場か
らは惜しみない拍手が送られていました。
審査の結果、「最優秀賞」と「優秀賞」
には、次の方々が選ばれました。

県消防長会（大信成人会長）主催の「第四十九回全国消防職員意見発表茨城県大会」が、一月二十九日（木）、常陸太田市生涯学習センターにおいて開催され、県内各消防本部から選抜された若手消防職員二十四名が、日々の業務に対す
る提言や取り組むべき課題について意見
発表を行いました



お忙しい中、研修に参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。身につけた知識を活かし、団幹部として、益々のご活躍を期待いたしますとともに、これから参加される女性団員にあっては、実りある研修となりますことを祈念いたします。

分団長 田崎直一郎
副分団長 大久保和幸
副分団長 大竹俊光
二月十八日(水)～二月二十日(金)予定
北茨城県消防団

○常陸太田市消防本部
消防二
六反
備量



大友瑞貴消防十

「怒られるって、嫌じゃん?」
○つくば市消防本部
消防士長 高橋 竜馬
「真の勇気を支えるために」
なお、「最優秀賞」を受賞された常陸太
田市消防本部の大友瑞貴消防士は、来る
四月二十八日(火)、埼玉県で行われる
「第四十九回関東支部消防職員意見発表
会」に本県代表として出場する予定です。

（地区）

県 北：六月二十一日（日）

県 央：五月三十一日（日）

県 南：六月十三日（土）

県 南北：六月十四日（日）

県 西：七月五日（日）

令和八年度 消防ポンプ操法競技大会地区大会



昨年度の消防ポンプ操法大会のあり方見直し結果を受け、来年度から、隔年開催の全国大会と同一年度に、地区大会と県代表選考会を開催することとなります。が、この度、来年度の各地区大会の開催日程が決まりましたのでお知らせします（詳細は次号に掲載）。

各地区では、この時期の開催は初めてとなりますので、地区大会の円滑な開催に向け、今年度から、県・協会・各地区が連携して準備に取り組んでまいります。今後とも、県と共に、消防操法大会のあり方については、今年度の式典簡素化や来年度の実施状況などを踏まえながら、見直しを続けてまいりますので、関係各位のご理解ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

当協会主催の「支部別消防団長等懇談会」は、昨年十二月から本年二月にかけて、六支部を会場に、各消防団長及び消防長出席のもと、順次開催しております。懇談会では、県・学校・消防協会が提出した議題や支部毎の課題などを中心に議論いただき、活発な意見交換が行われるなど、支部の活性化に繋がっております。

【議題】

- ・消防団の充実強化等について（県）
- ・令和八年度消防学校教育訓練計画（案）の概要について（学校）
- ・令和八年度茨城県消防協会事業等について（消防協会）

【開催日程等】

- 県南北部支部
 - ・十二月十七日（水）
 - ・つくばみらい市伊奈庁舎
- 県央支部
 - ・一月十六日（金）
 - ・小美玉市小川文化センター
- 県北支部
 - ・一月二十三日（金）
 - ・取手市消防本部
- 県南南部支部
 - ・二月二十七日（火）
 - ・五浦観光ホテル別館大観荘
- 鹿行支部
 - ・二月二十五日（水）
 - ・割烹旅館霞ヶ浦



オリジナル Tシャツ
アポロキャップ
徽章類
消防グッズ各種

水戸スポーツ株式会社

水戸市袴塚1-1-2

TEL029[224]3450 FAX029[224]3430

編集後記
あけましておめでとうございます。
「熊年？から牛年へ」飛躍の年にな
りますように。（の）



懇談会の様子（県北地区）

全国シェアNo.1の消防車メーカー
（株）モリタの各種消防自動車

常に最新技術を反映して様々な災害現場で活躍する消防車を制作します。

その他の取扱品目

小型動力消防ポンプ・消防用ホース
救助資機材・潜水機材・消防用被服
防災用品・消防用品・消防資機材

茨城県代理店

有限会社 鈴 機

〒315-0014 石岡市国府5-2-25
TEL:0299-22-3010 FAX:0299-22-5846

Panasonic

自動火災報知設備
非常電源設備
自家発電設備
CVCF設備
FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店

株式会社入江電機工業所

本 社 水戸市大工町2丁目3番23号
TEL.029-224-4614(代表)
FAX.029-224-4613

土浦営業所 土浦市並木1丁目2番20号
TEL.029-821-8498(代表)
FAX.029-822-6575

トーハツ 小型消防ポンプ

VE90AS 最大量1.5m³/毎分
VC72PROIII 操法最適
VF63AS 4ストローク B2級
VF53AS 4ストローク B3級
VF21AS 4ストローク C1級

消防服装 消火器 防災備蓄食品
船外機 発電機 消防資機材

茨城県代理店

トキワ産業株式会社

水戸市三の丸3丁目7番1号
TEL.029(224)3324(代) FAX.029(224)3360